

知床の窓から見えるもの

2019年8月26日（月曜日）

「知床開き」

初めまして。今年の3月より、診療所で働かせていただいている看護師Yです。羅臼診療所には様々な疾患の方が来られるため、初めて経験することが多いです。そのため、日々自分の知識・技術不足を痛感するとともに、看護師としてスタッフの方や患者さん・家族の方に支えられ、勉強になる毎日を過ごさせていただいています。

羅臼に引っ越してきたのは今年の8月でしたが、地元が札幌であり、毎月札幌の方に帰省していたので、羅臼はまだまだ知らない事や、行ったことがない所ばかりです。そこで、6月15日は初めて知床開きに行ってきました。地元の食材を出店で売ったり、その場で焼いて食べられる焼き場があったりと、美味しい食べ物をたくさんいただけ、とても感動しました。生憎、天気は悪く、土曜日みの開催で、本当に6月なのかな？と思うほど寒くて、ちょうど札幌から来ていた友達も寒さに驚いていました。

そんな中行われていた綱引きでは、大人同士の熱い戦いがあり、見ていてとてもワクワクしました。大人になってから、そのような行事をみることも、実際に出ることも無くなってきた中で見た綱引きは、皆さん本気なのが伝わりとても楽しかったです。いつか参加する機会があれば出てみたいと思いました。

今まで、札幌では何気なく過ごしてきましたが、羅臼に来て、自然の美しさや、偉大さに気づくことができました。緑が綺麗で、海・山・川も近く、診療所の横を歩いているシカやキツネには何回見ても人との近さに驚いています。冬に見たテレビや動物園でしか見たことがなかった、流水やオオワシにはとても感動しました。羅臼に来られたのも何かの縁だと思うので、羅臼に居る間に、この地でしか経験できないこと、見られないもの、食べられないもの、たくさんあると思いますが、1つでも多くのことを経験し吸収していきたいです。

